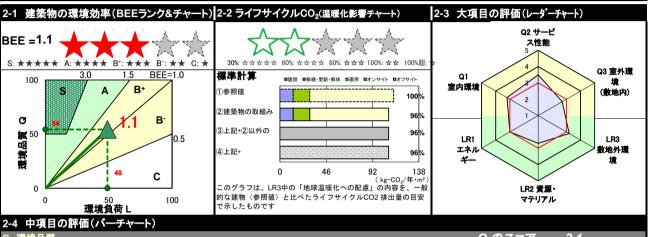
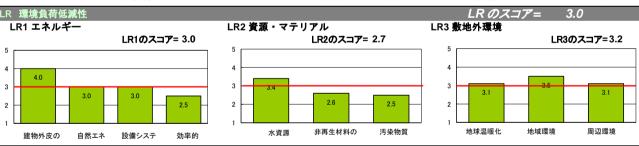
▮評価結果▮

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	平塚八重咲町計画	階数	地下1 地上3階	
建設地	平塚市八重咲町26-7	構造	RC造	
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600 時間/年	(6)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年5月20日	G. C. C.
敷地面積	1,971 m ²	作成者	アルスデザインアソシェイツ一級建築:	士事務所
建築面積	1,197 m ²	確認日	2016年5月21日	
延床面積	3,761 m ²	確認者	アルスデザインアソシェイツ一級建築:	士事務所







3 設計上の配慮事項 総合	その他	
建物の形、コアと各諸室の配置、断面計画を極カシンプルI 少ない計画とした。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
大きな長方形の平面ブランとなるように計画した。ガラスにはLowEガラスを用いて冷 暖房負荷が減るように計画した。また館内は禁煙として、外部に喫煙スペースを設け		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	リサイクル促進として建物はRC造とし、外壁は塗装と乾式 工法とし容易に分別可能とした。雨水は敷地内の植栽ゾーンを流れるようにし、利用を図り、また敷地外への雨水流 出を抑える計画とした。	雨水は敷地内の植栽ゾーンを流れるようにし、利用を図り、また敷地外への雨水流出は指導された規模を満たし、雨水浸透などを任意に行い抑える計画とした。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO。」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される